

本 会 会 報

学会だより

幹事会記録

開催日：平成14年8月25日

会 場：帯広とかちプラザ

出席者：会長 佐野芳雄，副会長 喜多村啓介，新発田修治，大澤勝次，沢田壮兵，高畑義人，江頭宏昌，新関稔，吉田薫，平野久，堤伸浩，高野哲夫，平田豊，荻原保成，笹隈哲夫，原田久也，川上直人，門脇光一，佐々英徳，久保山勉，藤村達人，山元皓二，倉田のり，松岡信，村井耕二，中井弘和，長谷川博，谷坂隆俊，森川利信，石井尊生，富田因則，山口聰，古庄雅彦，吉村淳，佐藤光，木庭卓人，矢野昌裕，中村郁郎，渡邊和男，根本博，貴島祐治

1. 報告

庶務：(1)会員数は2002年8月9日現在，名誉会員11名，普通会员1556名，学生会員371名，外国会員121名，その他賛助会員，団体会員を合わせて総数2309である。

(2)第一回財団法人農学会「農学進歩賞」に渡辺正夫氏(岩手大学農学部)を推薦したことが報告された。次回から推薦制度を整備することが確認された。(3)平成14年度科研費補助金研究成果公開促進費の学術定期刊物「一般欧文誌」(180万円)および研究成果公開發表(B)(142万円)が採択され交付された。(4)学会ホームページが刷新され，新しいアドレスが<http://www.nacos.com/jsb/>に変わったことが報告された。専門委員会を作るなど体制強化を図ることを検討するとの意向が伝えられた。

会計：平成14年度の間決算が報告され，承認された。集会：次回，平成15年度春季大会(大会委員長：原田久也氏)は千葉大学西千葉キャンパスにおいて4月1日(幹事会)，2・3日(講演会)の予定で開催されることが確認された。

英文雑誌：(1)掲載および投稿状況について説明があり，インパクトファクターの向上を目指す必要性が指摘された。(2)BSの掲載論文はJ-STAGE(http://www.jstage.jst.go.jp/ja/journal_list.html)を通じてオンラインで公開されていることが報告された。

和文雑誌：掲載および投稿状況について説明があり，内容の改善を考慮中であることが報告された。

関連事項：(1)シンポジウム委員会：次回からシンポジウム委員会も課題を提案し，公募案とともに選考することが決まった。予算の問題，ワークショップの導入などが今後の課題として挙げられた。(2)GMO，実験生物多様性条約について説明があった。(3)国際遺伝学会脱会の実務を進めている段階であることが報告された。(4)育種学事典は間もなく培風館より執筆依頼を行い，平成

14年中に原稿完了見込である旨報告された。

2. 議事

(1)平成14年度日本育種学会賞の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て次の2件が選ばれた。

・長戸康郎(東京大学)，佐藤 光(九州大学)，北野英巳(名古屋大学)：イネ発育過程の遺伝解剖学的研究
・カンキツ品種「清見」の育成グループ(代表：吉田俊雄)：高品質・単胚性カンキツ品種「清見」の育成；

(2)平成14年度日本育種学会奨励賞の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て次の2件が選ばれた。

・草場 信(独立行政法人農業生物資源研究所)：自家不和合性遺伝子の変異に関する分子育種学的研究
・武田 真(香川大学)：コムギとオオムギの属間交雑およびオオムギ属の系統分化に関する細胞遺伝学的研究

(3)日本育種学会特別賞の選定：学会賞選考委員会では提案され，幹事会の議を経て次の1件が選ばれた。尚，特別賞は今回を前例としない例外的な措置である。

・イネゲノム塩基配列・遺伝情報解読研究グループ(連絡代表：佐々木卓治)：イネゲノム塩基配列・遺伝情報の高精度解読研究

(4)平成14年度日本農学賞候補の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て，武田和義氏が選ばれた。

(5)2003年秋季大会開催地について：神戸大学(大会長 上島脩志，2003年9月18～21日)での開催が承認された。

(6)学会賞運営内規の改正：表彰規定に関する事項について学会賞推薦の際の業績の更新および重複推薦の禁止に関する追加条項が承認された。

(7)2005年SABRAOつくば大会について：育種学会が主催することが承認された。育種学会との共同開催の形態や内容については今後検討することとなった。

(8)英文雑誌の改善に関して：多数の会員の投稿，引用が要望された。オンラインジャーナル化の推進，論文賞および表紙の改訂について説明された。また，表紙の紙の質を上げること，学会発表のマスコミの宣伝を積極的に進めることなどの意見があった。

常任幹事会記録

開催日：平成14年10月26日

会 場：東京大学大学院農学生命科学研究科会議

出席者：佐野芳雄，喜多村啓介，平田豊，堤伸浩，吉田薫，木庭卓人，矢野昌裕，根本博，谷坂隆俊，森川利信，川上直人，中村郁郎，貴島祐治

議 題：科研費交付と学会からの援助のあり方，学術会

議会の選考スケジュール, BSの質の向上, SABRAO大会への育種学会の支援, SABRAO大会以降の大会運営等に関して議論した。

集会の案内

第13回SHITAシンポジウム「植物工場をとりまく最新テクノロジー part2」

日 時：平成15年1月31日(金)9:40-16:40

会 場：中央大学駿河台記念館 281号室 JR御茶の水駅 徒歩3分

主 催：日本植物工場学会(SHITA)

参加費：会員5000円, 非会員9000円, 学生2000円, 懇親会4000円 1月11日以降 上記金額に1000円加える。
支払い：郵便振込, 加入者名/番号; 植物工場企画委員会 /00880-2-94927

問い合わせ先：〒410-0395 静岡県沼津市西野317 東海大学開発工学部内

日本植物工場学会 企画委員会 林真紀夫

TEL: 055-968-1111(代表) FAX: 055-968-1156 E-mail: hayashi@fb.u-tokai.ac.jp

研究助成公募の案内

財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成15年度研究助成対象者募集

研究課題：穀類並びに豆類の栽培・育種に関する研究, 穀類並びに豆類の品質・成分並びに栄養生理等に関する研究等

助成対象：大学及び短大の研究者(大学院生も含む), 国・公立試験研究機関の研究者等

助成金額：一般研究者1件100万円を10件程度, 若手研究者(昭和38年4月1日以降に生まれた者)1件50万円を10件程度

交付時期：平成15年5月予定

申請手続き：財団所定の申請用紙に必要事項を記入し, 平成15年3月20日(必着)までに送付。申請用紙の請求は郵送用切手(140円)同封のこと。

申請書請求先及び送付先：〒311-3411 茨城県東茨城郡小川町野田字大沼頭1542, (財)タカノ農芸化学研究助成財団 タカノフーズ(株)内 財団事務局

TEL: 0299-58-4363 FAX: 0298-58-4376

E-mail: tkzaidan@giga.ocn.ne.jp

日本育種学会会員異動(2002.7.24 ~ 2002.10.23)

普通会员入会：松村葉子(北海道), 中村恵美子(新潟), 青島秀憲(静岡), 須田郁夫(熊本)

学生会員入会：久保堅司(北海道), 白澤健太(宮城), 上田摩弥, 田口愛佳, 橘圭子(山形), 石川信(栃木), Bipna Rani Shrestha(千葉), 鈴木英美(神奈川), 武田祥尚, 皆川智学(新潟), Nisar Ahmed(岡山)

外国会員入会：UNIVERSIDADE ESTADUAL DE LONDRINA, BIBLIOTECA CENTRAL(BRAZIL), Mila M. Ramos(Philippines), Fevziye Celebi-Toprak(TURKEY)

住所変更等

普通会员：島津樹一, 松中仁, 眞部徹(茨城), 新井祐子(埼玉), 御園祐美(千葉), 田中勲(福井), 久保友明(静岡), 犬飼義明, 釘貫靖久(愛知), 宮村弘明(滋賀), 上野美華子(大阪), 吉田めぐみ(熊本)